

オリオン機械株式会社
代表取締役 太田 哲郎

オリオングループ組織変更について

～プロフェッショナルカンパニーとして一人ひとりが成長するための組織再編～

オリオングループは2023年度から「一人ひとりが成長しプロフェッショナルカンパニーを目指そう」をグループスローガンに掲げ、新中期経営計画NEXT80(2023～2026)のスタートを切ります。

新中期経営計画では、最終年度(2026)、グループ連結売上高700億円を目指し、さらなる発展を期すため4月1日より、組織変更を実施いたします。

主な組織変更と具体的な内容は下記のとおりです。今後とも相変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

記

【主な組織変更】

1. オリオングループホールディングス株式会社(略称 OGH)の設立
2. 産業機械販売体制の再編
3. 海外事業推進体制の強化

【具体的な内容】

1. オリオングループホールディングス株式会社(略称 OGH)の設立

OGHを親会社としグループ全体の社員教育と経営管理を行う事業持株会社体制へ移行することといたしました。昨今の経営環境の著しい変化の中、オリオングループの企業価値を最大化するため、OGHでは、社員教育プログラムの企画・立案・提供と経営戦略策定や経営資源の有効配分、資金調達といった経営管理を事業とし経営環境の変化への迅速な対応を図ることで、オリオングループの持続的な成長を目指してまいります。

- ・創 立 2023年(令和5年)4月1日
- ・代 表 者 代表取締役会長 CEO 太田 哲郎
代表取締役社長 COO 酒井 繁徳

2. 産業機械販売体制の再編

各地域で産業機械の販売を担っていた東日本オリオン、中部オリオン、関西オリオンをオリオン機械(産機営業本部)へ吸収統合いたします。メンテナンスやサービスの情報をグループ全体で共有し、お客様のご要望に対する最適な解決策をよりスピーディに提案できる体制を構築してまいります。

3. 海外事業推進体制の強化

従来の海外事業本部を再編し、社長直轄の組織として海外事業支援室を新設します。オリオングループとして、海外現地法人の販売力を強化し、地域に根差した製品開発や生産性の向上による効率化、現地調達による生産コストの低減などを図り、より一層、機動力をもった海外市場への展開に繋がります。